

保護者等意見交換会で提出された意見、提案、要望等

前回提出いただいたシートのうち、意見や提案、要望についてはほぼ原文のまま掲載しております。（一部、質問の部分の切り分け等あり）
頂いた貴重なご意見は、今回お示しします「学校再編計画素案」の参考とさせていただくとともに、市の考え方については「計画素案」の中で説明をさせていただきます。

No.	項目	意見
1	《学校名》	校章や、校歌はアイデアを募集される予定のようですが、学校名「（仮称）しのおか学園」の部分は、公募や住民投票をして決定してほしい。行政が決めた校名ではなく、地域全体を巻き込んで通う人 通わない人が納得する形で決めてほしい
2	《学校名》	学校名ですが、篠岡以外に住んでる子はしのおかになじみがない子が多いかと思いますので、例えば「桃花台学園」など、聞きなじみのあるものが良いのではないのでしょうか。今まで使ってない新しいものが良いかなと。
3	《校章・校歌》 《学校名》	統廃合としてではなくと書いてありましたが、事実統廃合なのでこだわる必要があるのかなと思いました。元々篠岡なので戻るという認識でよいのでは？新しい学校を作って、校章や校歌を新しくするのは反対です。篠岡の歴史をつぶすのはよくない。名前も篠岡小・中学校でよい。校庭に記念のものを置くくらいでよい（子供の絵をタイルにしたり、手形のこすとか）
4	《校章・校歌》	校歌を再編前の中学校ごとに分かれて、再編前の中学校の校歌を歌えばよいのではないか。（R 9年）
5	《再編計画》	今回はじめて意見交換に出席いたしました。統廃合ではなく、新しい学校のスタートとしていますが、それならば、1期、2期に分ける必要があるのか？と思いました。1期で新しい学校名を考えたり、校歌を考えたり、とするのに、また2期の再編がきたら、同じようなことになるのでしょうか？2回に分けて地域を振り回してるように感じます。新校舎を建設するならば、大は小をかねるようにある程度の人数を想定して、学校を作っていただき、その建設の期間で細かい部分（通学路・スクールバスなど）決めていけば良いのではないのでしょうか。
6	《再編計画》	子どもたちは新しい学校に通うのを楽しみにしています。統合して不便を受けるだけの世代はかわいそう。未定と言わず、建てかえ優先してほしい。
7	《再編計画》	1期、2期と何度も環境が変化することへ負担を感じる
8	《再編計画》	第2期編成について、令和15年に実施するものと思っていたけど未定になったんですか？6年もかからないですよね。市議の方に校舎の建てかえは4年と聞いたことがあります。小中一緒にやろうとしているから6年なのですか？篠岡中を先に建てかえて、令和13年に中学校だけでも先にしてほしい。小から中になるときに変化が必要だと思います。
9	《再編計画》	第2期は小牧南小のような素晴らしい小学校にすると約束してほしい。第2期は必ずやると断言して欲しい。小中一貫校の素晴らしい学校を作り上げると断言して欲しい。
10	《再編計画》	陶→桃 わざわざ古い校舎にうつることがギモン（耐震性などから）
11	《再編計画》 《再編時期》	人数が少ないから多様性にふれる為？なら第2期をやってしまおう、いづれ人が減るのに今はやれない？教室に空きができるから？
12	《再編時期》	第 2 期の時期もある程度決めておくことは、やはり必要ではないでしょうか？小学校で再編、中学校でも再編では、子どもたちにさらに負担をかけてしまうのではないのでしょうか？あらかじめ分かっている方がよいと思います。
13	《再編時期》	令和9年から再編を実施したいということは理解できましたが、検討中の内容が多すぎて、令和9年は時期尚早と感じました。無理に進めて、結局子供達が混乱したり、不安に感じて学校に行けなくなる子がでてきたりしては、本末転倒だと思います。 決まっていないことが多いから親も子供も不安になります。せめて、具体的な項目とその決定時期、保護者への説明予定時期を明示して下さい。例えば、通学路、中学生の自転車通学可否、制服などの学用品、受験生となる中学三年生へのケアや対応内容など。
14	《再編時期》	とにかく急すぎる。R9年に間に合う気がしない。篠岡地区だけの問題ではなく、小牧市全体としてとらえてほしい!!
15	《再編時期》 《当事者配慮》	令和9年編成で子供たちの心のケアが間に合うのか。色々決まってないので、交流等は令和8年度からなのかたった1年で間に合うのでしょうか。子供が減少しているのは分かっていた事なので、再編を見ずえてもう少し前から計画がたてられなかったのか。今現在4年生で令和9年度に6年生になる娘はとても不安に感じています。校則などは子供たちも考えた方がよいと言うならばなおさら時間が必要なのではないのでしょうか？来年の今ごろから子供たちが集まってきめていくとかでしょうか。いざ再編が始まってから決めていたのでは、うちは6年生なので不安定なままで卒業になってしまわないか心配です。市の人たちと話は、今学校に通う子供たちの事をあまり考えていない様に感じました。（数字だけ見ている感じがしました）
16	《当事者配慮》	中3、小6での学校再編になります。大城3、4丁目で学区の変更もあるかもと言われています。中3での再編は子供もかなり不安に思っており、子供達に具体的に説明していただきたいと思います。 例：成績や先生の数についてなど受験時での再編は大人が思うよりも子供に負担がかかるということをよく考えていただけたらと思います。大城小はもともと光ヶ丘と桃陵にわかれてしまう小学校です。入学した時から、子供本人もそれは理解をして過ごしてきました。しかし突然再編の話がでて、兄弟とは違う中学校になるかもという事になりました。一緒に修学旅行、卒業式が行えると思っていたのに、できないとなった時の心のケアが必要だと思います。例えば大城の子達の卒業遠足などのイベントの実施。どこまで検討していただけるかはわかりませんが、市職員さん達にとってはたまたま通過のR9年度かもしれませんが、子供と親にとっては大切な大事な小学校最後の1年なんです。
17	《当事者配慮》	知っている先生を必ず再編した学校に移動してほしいです。
18	《当事者配慮》	本題から大きくはなれますが・・・新しく統合すると研究を行うと思います。目新しそうな斬新なものではなく、基礎基本を徹底するような子どもにも教職員にも負担のないようなものであってほしいと思います。瀬戸の、にじの丘学園に通っているお子さん教職員の方から話を聞くと、子どもがおいてけぼりになっているような取組みもある印象です。アクティブラーニング等よりも基礎をしっかり身につけられるものだと親としても安心し、期待できます。
19	《当事者配慮》	今日の説明会の参加人数はとても少なく、城山三・四丁目のアンケート回答率もとても低いと思いますが、その要因は何だと考えますか？令和9年度を目指しているのは理解できますが、それまでの具体的なスケジュールがほぼ示されておらず、当事者である児童・親が置き去りになっている感が否めないのではないのでしょうか？より丁寧な説明を、もう少し時間をかけてする必要があるのではないのでしょうか？現在の大城小学校の4年生は、卒業まであと1年という状況で友達と別れることになります。そういった事への配慮はされていますか？
20	《学校間交流》	令和8年度の体育祭と文化祭は、再編する学校同士と一緒にやりますか？できれば令和8年度は今の学校の生徒でやりたいです。
21	《学校間交流》	子どもの交流会(小学校同士)はもっと回数を増やしてほしい 例えば3ヶ月に1回など、行ってほしい。R9年度からの友達関係について安心感が高まる。
22	《学校間交流》	別の学校同士の交流があることを知りませんでした。自分の子供の学級では、聞いたことがなかったので、第一期再編に向けて、篠岡地区のすべての小中学校で積極的に取り組んでほしい。校学学習や普段の授業でもやってほしい。 第一期再編から第二期再編の間も、合同イベントや授業を設けたら地区として一体感が出る
23	《学校間交流》 《スクールバス》	学校間の交流を予定しているとのことでしたが、具体的にいつ、どのようにするのでしょうか。すぐ決めて動かないと、結局交流などする時間なく、すぐ令和9年になります。一回したから、交流したよね、不安ないよね、とはなりません。令和9年にいきなり再編とするのではなく、段階的に対応することはできないのですか？例えば、どこか一校でスクールバスを運用するなどしてみて、問題点を見つけて対応することでシステム作りをしてから、残りの学校にも適用するとかです。 色々な意見があり大変だとは思いますが、子供達の学校生活が憂いなく過ごせるように、今後ともご対応宜しくお願いします。
24	《広報・周知》	今日みたいな再編の具体的な話を、学校でも先生から生徒に説明してほしいです。
25	《広報・周知》	再編の説明 資料をつくり、市のHPなどで公表してほしい （児童・未就学児向け）
26	《広報・周知》	また、同じ桃花台でも地域が違うと、抱えている懸念や問題も異なるので、是非各学校ごとで個別に生徒と保護者を対象に説明会を開催して欲しいです。暑い時期が難しいのであれば、検討中の事項がもう少し決まるだろう冬や来春でもいいと思います。
27	《広報・周知》	保護者との意見交換会を学校行事として行ってほしいです。テトルで配信されただけでは、読んでいない人も多く令和9年から行われる事も内容も知らない保護者も多いです。知っているも学校からの説明会がない為、案であり実行される事とは思っていない人もいます。東部市民センターに来た人だけに説明するのではなく保護者全員に説明、意見交換ができるように学校とも協力して保護者全員に説明、意見交換ができる場を各学校ごとに開催してほしいです。よろしく願います。
28	《広報・周知》	説明会の回数を増やしてほしい。
29	《広報・周知》	今回の編成について、子どもたちにどう伝えるのか。安心できる、楽しみにできる伝え方を願います
30	《広報・周知》	子どもも参加できて、こどもの意見もとり入れた意見交換会もあってよいと思います
31	《広報・周知》	2月までに決めるというが、まず発信がない中で何をどうやって決めていくのですか？早急に現状を知ってもらって意見をひろって見当していくなどしていく必要がある。→子供達、地域の人にも学校長主催の統合の意見交換会を開いてほしい。その方が、リアルな声や、子供達も考えられる。それに対して具体的な案がない。統合に反対ではない。
32	《広報・周知》	この再編は小牧市全体として考えているなら保護者向け説明会を市内全域で開催してほしい。市全域に再編を周知しないと再編対象外の小牧・小牧南地区と再編対象校との児童・保護者・PTA等との考え方の温度差が広がる。適正人数で数的には教育の平等・均等がはかられても内面的・心の中では圧れきが生じる。すでに出ています。例えば夏休み最後の週末で他の学区の友達からの遊びの誘いがあっても、この説明会のため行けず。これは仕方ないですが、小牧市内でもこの再編について知らない人が多い。自分の地区だけが再編対象となり、周りに説明すると劣等感を感じる。市内で起きている温度差を解消する方法を提示してほしい。全市民に再編について説明しなければこの再編は進めるべきではないです。
33	《広報・周知》	教育委員会や学校再編推進委員会では何を検討しているかが分からないので見える化をしてほしい (例) A. 最優先の検討内容 B. 再編前までに決める内容 C. 再編後に決める内容
34	《通学》	自転車通学について、池之内から林は距離・高低差がある。アシスト自転車の利用
35	《通学》	篠岡中学から光中学に変わる子は、ほとんどの子が通学が遠くなるので、不安解消や熱中症対策のためにも、自転車通学を認めて下さい。
36	《通学》	徒歩の子供について、交通量やカラー塗装を検討され有難く思います。ただ、最終的に、通学時間と同じ時間で実際に歩いて安全が確認した上で決定してほしい
37	《通学》	パトロールボランティア集まらないなら警備会社でもよいのでは。
38	《熱中症対策》	今も学校に行く時、飲み物、冷たい首にまく物など持たせているが、何か考えて貰って支給して貰えとありがたい（倒れてからでは遅いから）今の所、息子は倒れた事がないが、年々気温も高く危険な為、考えて貰いたい。
39	《スクールバス》	中型車が入るのが困難な地域があると思います。

No.	項目	意見
40	《スクールバス》	中学校が自転車通学距離のエリアであれば、2kmではなく小学生はスクールバスを検討していただきたいです。（中学生よりも小学生の方が体力・体格面で劣るので、その子たちに歩かせるのは違うと思います。）
41	《スクールバス》	地区、学年によって仕方ないとしないといけない所があると思うが、そのためには教育長がお話されていたようにメリットを作ってもらわないといけない。他校との差別化を出してもらわないとメリットを感じるのは難しいと思うので、頑張ってくださいたい。
42	《スクールバス》	本日初めて説明を聞きました。学校再編問題が、近々の切迫した問題であることがよくわかりました。説明会を開催して頂きありがとうございます。ただ、せっかくの説明会も中学校向けと言いながら、小学校の内容が大半で、中学生の子供がいる親は質問しづらかったです。とても貴重な機会ですが、知らない保護者が多く、実際に参加者も想像以上に少なくで、とても残念に感じました。
43	《スクールバス》	スクールバスは今通っている小学校から新しい小学校に行くだけでよいのでは？体育館は残すので、今までどおり小学校まで歩いて行って、そこからバスに乗ればよい。
44	《スクールバス》	再編によって一校あたりの児童数が増える事に伴い勿論保護者も増えますので入学式や卒業式、運動会や授業参観等、行事の際の保護者の学校へのアクセスについて気になります。現状は徒歩で来られる方も一定数いますので学校敷地内に駐車する事ができ、自家用車で行く事が可能です。しかし再編後の光ヶ丘小学校の敷地内はどう見ても収容するのは無理そうに見えますし、周辺に駐車できそうな場所も現状見受けられない為、何かしらの対応をしていただきたいと思います。小耳に挟んだのですが光ヶ丘の駐車場の拡充を思案しているとの話を聞きましたので、是非実現していただきたいと思います。
45	《スクールバス》	第3回の会でお示しいただいた案から、かなり保護者目線に寄り添った内容に修正されたことを嬉しく思います。バスの乗降車時の確認方法など気になる面はまだ多くありますが、再編に向けて前向きになれるように感じました。意見として、バスの乗り入れ、保護者による送迎の乗り入れ面での安全確保、また新しい通学ルートに慣れるまでの安全確保などの観点から、学校や周辺での安全確保をお願いしたく、それらを保護者やボランティアに頼るのではなく、きちんと市の予算から見守り人、監視員などをたてていただきたいです。
46	《スクールバス》	現在集合場所に時計がないので、バス停は時計のあるところにしてほしい
47	《スクールバス》	バス停までの道のりの安全性を考えてほしい。毎朝、バトボラで歩いているので、意見を聞いてほしい
48	《スクールバス》	バスは指定席にする等、子ども同士でも誰が乗っている、乗りおくれた等が分かりやすいようにする
49	《スクールバス》	バス内トラブル対応については、バス運行のダイヤ決定する際には決めておいて頂きたいです。
50	《スクールバス》	バス停までの通学路や集団で向かう時のルールについても利用者同士で決めるよりも、学校側などで決めてもらうと良いと思います。
51	《スクールバス》	行きの乗りおくれ時の対応も考えて頂きたいですが、下校時に、そのまま学校から習い事へ行くなどでバスを利用しない日が急にできる事があると思います。その際の人数確認など、先生方の負担も増えないか心配です。バトボールボランティアの方へのお願いしたり、保護者に協力してもらったりと今後細かく考えて頂けたらと思います。
52	《スクールバス》	バスを指定席にすると乗ってない子の確認やトラブルも減るのではないのでしょうか…
53	《スクールバス》	バスの中に、問題防止、安全のためにカメラがあると安心です。
54	《スクールバス》	R8の「スクールバスに関する事務説明会」の時に、バス運行会社の方も来ていただいて説明をしてほしいです。（安全面等の対策を知りたいため）
55	《スクールバス》	スクールバスの運行について、各地域での具体案を早急に示してほしい
56	《スクールバス》	学校再編で学校が遠くなり、スクールバスを利用する児童が増えると言う事は入学式、卒業式、授業参観等の学校行事に学校から遠くの保護者は車を利用する方々が大勢いる事になると思います。今の学校(光が丘小、中、桃ヶ丘、桃陵)では駐車場があきらかに足りないとおもいます。また、公共交通機関も数時間に数本のこまくるだけではうまく乗り合わせる事も難しいとおもいます。その辺りも十分に考えて頂きたいです。
57	《スクールバス》	私の息子はスクールバス対象者にはなっておりませんが、通学時間の時（特に夏の暑い時期）に徒歩で歩いて学校に行く時にスクールバスと同じ時間に道を歩いている息子とかぶる時間にするのはやめて貰いたい。近いからスクールバスに乗れなくて一生懸命歩いて行くから考えて貰いたい。
58	《スクールバス》	対象エリアの人達のためのバス利用申請ではなく、児童全員対象にし、バス停というより1〜3ヶ所でバス停を作り、そのバス停に通学団で登校し、そこからバスに乗れる様にしようが、利用したい、利用しない、利用したいのにエリア外でできないっていう事がなくなるんじゃないでしょうか？
59	《スクールバス》	子供が登下校した際、メールではなく、アプリ等の方がたすかります。できれば、GPS等でどこら辺にいるかわかると安心かとおもいます。Tetoruなど今、実際学校で利用しているアプリでも、まもサーチというのが利用できるサービスもありますのでそういうのを検討して頂きたいです。
60	《スクールバス》	スクールバス地区見直しありがとうございます。再編による心配点のアンケート1番が通学でした。2番目に多いのが「同級生が増え、環境の変化」でした。せっかくアンケートしたのであれば、上位層の意見に対しての対応を示してほしい。例えば、学校交流会すごくいいと思いますが、今後の取組みスケジュールで示すなどしたらいいと思います。
61	《スクールバス》	スクールバス対象者・対象外者の分け方について、子どもが悪感情にならない説明がしたい（距離でわけている。希望者全員がのれるわけではないでは、子どもは納得しないと思うので）→適切な子ども向け（低学年～未就学）の説明やフォロー、保護者への説明会を要求します。
62	《スクールバス》	(高根地区) (バス停まで) 登下校ルートの中には、歩道の整備もまともにされていない所もあって、危ないとおもうのでなんとかして欲しい。
63	《スクールバス》	スクールバス導入に伴い、ICTの導入を検討されているということだが近年、問題となっているバス置き去り等もあるため、是非、導入をお願いしたい。
64	《スクールバス》	スクールバスの対象エリアが少ないと思います。市民四季の森から光ヶ丘小、市民球場から桃ヶ丘小に小学1年生の子をランドセルを背負わせて歩かせるのでしょうか。教育委員会のどなたか、実際に朝とお昼過ぎに歩いた方はいらっしゃるのでしょうか。
65	《スクールバス》	大城小や篠岡小、陶小のスクールバスエリア外の子どもたちは今まで通りの分団で大城や各小学校で集合し、そこからバスで光や桃小へ行くという方法は難しいのでしょうか。 それであれば、大城の光、桃への校区も今まで通りになり大草の子たちも、大草地区の子だけが光へ行くこともなくなるかと思います。上の子が光中、桃陵中通っていたご家庭も、今まで通り進級できると思います。
66	《スクールバス》	スクールバスの利用や希望を全世帯にアンケートを取ってほしいです。
67	《スクールバス》	乗降場所（バス停）提案 ①大草南（吉原交差点）に住んでいます。吉原交差点付近の乗降場所はありませんか。 ②農協で乗降場所 ①が無いなら②で乗降場所（バス停）をお願いします。
68	《児童クラブ》	児童クラブについては、送迎が遠くなると勤務時間にも影響が大きくなりますので、一定の配慮をお願いしたいです。
69	《児童クラブ》	スクールバスについてです。暑さ指数が31度を超えると運動禁止だと思いますが、下校時刻はこれを超えていることはよくあると思います。2キロで一律区切るのではなく、この際、より柔軟な対応を考えてほしいです。
70	《跡地利用》	使わなくなる校舎、土地があるのであれば、市立高校を作ってほしい。桃花台に住む子供が高校に行くのはとても遠い。
71	《その他》	再編を強調されていましたが、例えば、大城小校区の地区の運動会はなくなるのだらうと思います。再編と言うのであれば、地区全体のことを見据えたお話を聞きたいです。
72	《その他》	令和6年5月のタウンミーティングや令和7年4月1日の市のホームページでは「令和15年までに学校を再編とする意味ではないと発言、表記されているのにもかかわらず、令和7年6月のテトルで「再編」の連絡があった。この2ヶ月で市教育委員会で何が起きたのか具体的な内容を提示してほしい。
73	《その他》	お忙しい業務の中 意見交換会の開催ありがとうございます。 様々なご意見のある中、葛藤もあるかと思いますが、熱心な議論ありがとうございます。 学校再編についての理解は十分に出来ました。 今後、VUCA時代・BANI時代を生きていく子ども達にとって多様な人との関わりや様々な経験は欠かせないものと考え、再編に対しても共感的に受けとめています。そのため現在、再編の論点が「教」による議論に偏っていますが、おそらくすでに担当課においては、次世代を担う子ども達を育成するための魅力ある教育のあり方やカリキュラムなどの議論も始まっていることと思いますが、ぜひ、その教育の質の部分を発信して、再編による魅力や可能性を伝えていくことで、関係者の共感を育んでいくことになると思いますので、しのおか学園として新たな学校を創造していくことに対して議論をしていただき、発信していただきたいと思います。 行政・学校・保護者が相互に協力して、子どもの健全育成を支えていくためには、対立関係ではなく協力関係を構築することができるように今回のような対話の機会を設けていただけるといいかと思います。今度ともよろしくお願い致します。
74	《その他》	全ての課題が解決してないのに、R9年度から必ずやるはないと思った。あまりにも強行すぎる。2つの学校が廃校になるのはそんな流れでやる事ではない。重大な事である。それでは納得できない。（若しくは再編した後も納得いくまで） これだけ課題だらけなのだから、R9.3月まで意見交換を何回も開催して改善し続けなければならないと思う。いつまで私たちの意見が反映される機会があるのか、その時期、今後の予定、回数を教えてもらいたい
75	《その他》	取り組みが遅すぎたと認めた。
76	《その他》	適正規模により学びの充実という目的は理解しました。ただ、子供を集めて終わりに聞こえる。再編する前と後で良くなる点をもう少し具体的に示してほしい。例えば、中学部活動が3つしかないけど、再編により6つに増やせて、子供の選択肢が増え、可能性をのばす機会が提供できるとか、具体的に良くなるイメージがほしい
77	《その他》	通勤時間の変更など、保護者も生活リズムを変える必要が出てくる中で内容や説明が一方的すぎると感じる。
78	《その他》	中3の時の修学旅行の班決めで、会って1ヶ月も経っていない中での班決めは少し不安がある。
79	《その他》	Sクルーは残してほしい。

保護者等意見交換会で提出された質問と回答

提出いただいたシートのうち、「質問」については内容を損なわない範囲で要約をさせていただいております。
また、１つのシート内に複数の質問や意見と質問等を併記いただいた場合には、内容等に応じて文章を分け、個別に回答している場合があります。

No	項目	質問（要約）	市の考え方
1	《再編計画》	第2期の再編はR14年度の予想数（小1）が出てるのだから時期は決めるんじゃないか？適正人数とはいったい何人？	第1期の再編につきましては、現状において児童生徒数の減少が顕著であり、子どもたちが多様な考え方に触れ、社会性を養いながら成長をしていくためには、可能な限りは早く再編を行う必要があり、最短で実施が可能な令和9年度とさせていただいたものであります。 次に、第2期の再編時期につきましては、引き続き、今後の児童生徒数の推移や校舎の状況等を見ながらの判断となりますが、その際、第1期の再編後の子どもたちの変化などの検証を行ったうえで、改めて保護者や地域の皆様の意見をお聴きして決定していく必要があると考えております。 なお、本市における学校の適正規模は、小学校・中学校ともに「1校あたり12学級から24学級」を基本的な考え方としています。
2	《再編計画》	第二期再編後の学校建設場所は篠岡小学校中学校跡地で確定ですか。 桃ヶ丘小学校、桃陵中学校跡地で検討はしていませんか。また、第二期再編は、必要でしょうか。2小、2中で十分に多様性を確保できないですか。	第1期再編後に児童生徒数の減少に歯止めがかかり、学校の適正規模を維持できる見通しが立つような状況になれば、あらためて検討することになりますが、このまま、推計どおり児童生徒数の減少が進み、学校の適正規模を下回る状況が見込まれた場合には、篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新たな学校を設立し、小中一貫教育の導入に向けて検討を進めることを考えています。 なお、篠岡小学校と篠岡中学校の敷地を新たな学校の設置場所の候補としている理由は、周辺には東部市民センター、篠岡児童館、緊急時の対応が短時間で可能となる消防署東支所が隣接しており、様々な面で学校活動との連携が期待でき、地域一帯を学びの場と捉えることができることと、小学校と中学校が隣接しており、他の学校と比較して敷地面積が広いこと、加えて、子どもたちが学校に通いながら建設工事を行うことを避けることができ、子どもたちの安全を確保することや教育活動に支障が出ないようにすることができるためです。
3	《当事者配慮》	今の中学1年生は中学3年生で学校が変わり、ものすごく不安を感じています。修学旅行も再編した学校では行きたくないとも言ってます。そのあたりの子供達の心のケアはどのようにされるのでしょうか？	再編により環境が大きく変わることは子どもたちの心身に少なからず負担になることが考えられます。 再編前から環境に慣れることをねらいとした学校間の交流や再編先の学校との合同活動を計画的に進めるなど、子どもたちの不安を取り除けるよう取り組んでまいります。
4	《当事者配慮》	1つのコミュニティとしてまとまれるよう、同じ学校の生徒なのに”陶の子” ”桃の子”などと分断されないような対策は考えていますか	
5	《当事者配慮》	子ども達の精神面のサポートは具体的にどのような対策を考えていますか	
6	《当事者配慮》	学校が遠くなることでの行き渋り・不登校が増えませんか？対策はあるか	
7	《当事者配慮》	先生たちはそのまま移転してもらえるのか。	教員は、その多くが県職員であり、人事権は県の所管になるため、市に決定権はありませんが、市といたしましても、学校再編という特殊事情を踏まえ、教員の配置については配慮いただきたい旨を県教育委員会にお伝えさせていただきます。
8	《スクールバス》	密集地域でのバス停は？	スクールバスの対象者が多い地域においては、学校と当該地域を2往復することを考えています。 バス停の具体的な場所については、令和7年度中に案をお示ししたうえで、保護者や地域の皆さんのご意見を伺いながら決定していきます。
9	《スクールバス》	スクールバスについて、夏休み等、部活やボランティアで登校する際は徒歩ですか？自転車？保護者送迎？	スクールバスが運行日は、原則として学校が開校している日であり、夏休み等の長期休校期間においては、学校行事や出校日を除きスクールバスは運行しません。 なお、運行本数は、登校時は1便で、下校時は、下校時刻の異なる低学年と高学年向けの2便の運行に加え、部活動のある日については、第3便の運行を行い、子どもたちの活動をサポートしてまいりたいと考えています。
10	《スクールバス》	スクールバスエリアの個別への対応は、市役所でいい？	スクールバスに関しては、小牧市教育委員会事務局教育総務課までお問い合わせください。
11	《スクールバス》	バスについてはどこに相談したらいいですか？	
12	《スクールバス》	運行ルールに同意できなかった場合は母親が学校までおくっていてもいいのですか？	車による送迎については、学校の駐車場が限られていることや、多くの車が学校敷地に入出入りすることで子どもたちを巻き込んだ交通事故につながる可能性があることから、通学団による徒歩による通学を原則としております。 ただし、特別な事情がある場合などは、車で送迎することを現在も認めているところですので、今後、個別に学校も含め対応を協議させていただきたいと考えています。
13	《スクールバス》	バス停を、地域の集会施設や市の所有地に設置するとあるが、バスが停車するだけの広さがない場合はどうなるのか。	スクールバスの停留所につきましては、まずは、児童が安全に待機することができるスペースのある地域の会館や公共用地等を指定したいと考えていますが、適した場所がない場合は、事業所などにご協力をいただき、待機スペースを確保することも検討していきます。

No	項目	質問（要約）	市の考え方
14	《スクールバス》	子供たちは、バス停まで距離があっても、歩いて行くことになるのか。	市内の小学校は、いずれも徒歩通学であります。また、今回のスクールバスの運行エリア外の児童は、徒歩通学となりますので、スクールバスに乗車する児童についてもバス停までは徒歩での移動をお願いします。
15	《スクールバス》	令和８年度に陶小の児童全員にスクールバスの利用申請書を送付されるというわけではないのか。	令和８年夏頃にスクールバス運行対象エリア内の小学生（１～５年生）と令和９年度に入学予定の未就学児を持つ世帯に対し、運行ダイヤやバス停の一覧等と併せて、バスの利用申請書を送付します。
16	《スクールバス》	スクールバス以外にこまくるバスの活用や使用を認めるという考えはありますか	市の巡回バスは、不特定の方を乗せ、駅や病院、公共施設などを行き来するためのものであり、児童生徒の通学を目的として運行されるものではありませんので、現時点では巡回バスを通学に利用していただくことは考えておりません。
17	《スクールバス》	スクールバスで事故が起きてけがをしたら、どうするんですか？	児童生徒が安全・安心してスクールバスを利用できるよう、スクールバスの事業者と連携しながら安全管理を徹底いたします。 万が一、事故が起きてケガをした場合は、原則、法令の規定に則り、原因者が賠償を行うことになることになると考えています。
18	《スクールバス》 《施設》	スクールバスについて、私用で下校時にバスに乗らない時は、どうすればよいのか？ 現在は学校に連絡しなくても門のところで待っているのか、光ヶ丘小の駐車場はどのくらいあるのか。	今後、スクールバスの利用確認の方法について、ICTの活用を念頭に検討を進めており、ご事情等により、バスに乗らない場合の連絡体制についても、今後、あらためてお示しさせていただきます。 また、光ヶ丘小学校の駐車場についても現在、拡充の検討を進めていることから、今後、令和９年度以降の駐車台数をお示しさせていただきます。
19	《施設》	光中に自転車を置くことになったら、自転車置き場や自転車に貼るシールはどうなるか。	対象者数や駐輪スペースを鑑みながら、学校の駐輪場の増設も検討する必要があると考えています。シールの取り扱いについては、学校にお問い合わせいただきますようお願いします。
20	《通学》	通学路が変わったら、きちんと生徒に教えてくれるか？	新たな通学路が決定しましたら、児童、生徒、保護者の皆様にお知らせいたします。
21	《通学》	通学のボランティアさんが集まらなかった場合は、子供達だけの通学になりますか？	児童生徒の安全を守るために、今後も引き続き、パトロールボランティアを積極的に募集していきます。 保護者の皆さまにおかれましては、区（自治会）などの活動に積極的にご参加いただくことで、地域活動を盛り上げ、地域全体で子どもたちを見守れるような体制づくりにご協力くださいますようお願いします。
22	《部活動》	篠岡中学校にあって光中にはない部活は、光中に部活が増えるか？	再編後の部活動の内容については、再編後の生徒の意見や生徒数の推移なども踏まえて、計画的に検討してまいります。 なお、中学生の部活動については、現在、篠岡地区では学校再編の議論とは別に３中学校間（篠岡、桃陵、光ヶ丘）における地域連携により、３中学校で連携した部活動運営を実施していることから、再編後においてもこの取組を活かし、２中学校の連携により、篠岡地区全体で活動を実施していくことを考えています。
23	《小中一貫教育》	小中一貫校とは？具体的に何を示しているのか不明です。	小中一貫校とは、小学校と中学校が同じ教育目標のもと、目指す子ども像を共有し、義務教育９年間を一貫した教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育を行う学校になります。 小学校の全児童が同じ中学校に進学することになるため、小学校から中学校に進学する際の不登校の要因と言われている「中１ギャップ」の解消につながるものでもあります。
24	《まちづくり》	篠岡地区では、転入を増やす(街づくりなど)施策は何もやっていないのでしょうか。	篠岡地区が他の地区と比べて、児童生徒数の減少が著しいのは、篠岡地区の特性にあります。 まず、桃花台ニュータウンについては、住宅供給事業が完了し、新たに住宅を建設する土地がないため、児童生徒数の増加のためには、現在、住んでいる若い方が子どもを生むか、若い世代の転入していただくしかない状況です。 また、桃花台ニュータウン以外の篠岡地区については、宅地化が抑制されている市街化調整区域であるため、基本的に民間による新たな宅地供給が期待できない地域であります。 市としても、「東部まちづくり審議会」を立ち上げ、東部地区の振興に力を入れており、空き家問題への取り組みも行っていますが、現状において、今後卒業をしていく児童生徒数に比べて転入してくる児童生徒数は大きくないと推察しています。 子育て世代にとって、学校が近くにあることは大きな利点ですが、一方で、今後、学校再編を進め、充実した学校施設で特色ある教育活動を行う、今よりも魅力的な教育環境の学校を地域に作ることで、若い世代の家族を呼び込むための強みになるようにしたいと考えます。
25	《その他》	この再編は対象校(現篠岡や今後の巾下・北里・味岡)のみの問題として考えているのか、それとも市全体としての問題として考えているのか？	令和６年度に策定しました小牧市新たな学校づくり推進計画において、児童生徒数の減少と学校施設の老朽化の状況から、巾下地区、篠岡地区及び北里地区を早急に学校再編に取り組む必要がある地区と位置付けており、現在、篠岡地区の学校再編を進めているところです。 なお、学校再編の検討にあたっては、市内の学校間において子どもたちの教育環境に差が生じないように、市全体の問題とし認識し、取り組んでいます。
26	《城山3・4丁目》	城山3丁目、4丁目の小中学生は光ヶ丘小学校・桃ヶ丘小学校 光ヶ丘中学校・桃陵中学校に登校希望のアンケートをしていると承知しています。基本的に希望をかなえる方針として理解して良いのでしょうか？	本アンケートは、城山三丁目、四丁目の通学区域を検討するに当たり、当該地域にお住まいの保護者のご意見を参考とさせていただくため、ご協力をお願いしたことになります。 当該地域の通学区域の考え方については、第４回の「篠岡地区の学校を考える会」の中で市の考え方をお示しします。
27	《城山3・4丁目》	R9年度の光ヶ丘中学校の学級数は城山3丁目4丁目をどの様にカウントしてシュミレーションをしていますか？	保護者等意見交換会においてお配りしたリーフレット（Ａ３カラー刷り）に記載している学級数は、第３回考える会の資料に合わせ、城山三丁目・四丁目の児童生徒は、桃ヶ丘小学校／桃陵中学校として試算しました。ただし、現在光ヶ丘中学校に通学している生徒は、経過措置を鑑みて光ヶ丘中学校としています。